



—学校教育目標—

自ら学び 心ゆたかに たくましく生きる 細野っ子の育成

学校経営
リーフレット

平成31年度・令和元年度
安中市立細野小学校

細小三つの子

「すすんで勉強する子」「みんなと仲よくする子」「たくましい子」

「すすんで勉強する子」とは

「すすんで勉強する子」は、「話をしっかり聞ける子」「考えを進んで発表できる子」「本をたくさん読む子」「家庭学習の習慣を身に付けている子」です。

教科書を中心とした基礎学力を身に付けることはもちろんですが、読書からの間接経験や様々な体験、いろいろな人の考えを基に、自ら見つけた課題や課せられた問題を試行錯誤して解決していこうと努力する子です。そして、学んだことを自分の生活の中によりよく生かそうとする子です。

「すすんで勉強できる子」をめざして

間違いを恐れず発表できる雰囲気の学級づくりをし、どの子にもわかる授業を目指して工夫を凝らします。また、思考力・判断力・表現力の育成のために、子どもたちが対話して考えを深めていく授業展開の工夫を図ります。

読解力や表現力の育成及び豊富な間接経験獲得のために、「細野っ子に読ませたい60冊の本」の取組を推進します。

家庭での自主学習も大切です。自主学習にも取り組む習慣を身に付けさせるために、具体的な自主学習の例を示していきます。



1年生 道徳

「みんなと仲よくする子」とは

「みんなと仲よくする子」は、「相手の気持ちを考えることのできる子」「親切にできる子」「誰とも遊べる子」「誰でも仲間に入れてあげられる子」「元気にあいさつできる子」「進んで清掃に取り組める子」です。

思いやりの心を持ち、友だちが困っているとき、それを見過ごさないで声をかけたり、差別やいじめがあったときには、よくないときちんと言えたりできる子です。休み時間の外遊びにおいて、誰とも遊べ、誰でも仲間に入れてあげられる子です。

みんなが使う所をしっかりと清掃できる子は、人のことが思いやれる子です。

「みんなとなかよくできる子」をめざして

「みんながって みんないい」という考えを持ち、互いのよさを認め合う集団づくりに取り組みます。普段の学校生活の中で、友達の良い所に目が行き、それを認めていく指導に心がけます。

全職員が全児童の担任のような気持ちで、全児童一人一人を温かく見守る中で、人権感覚・人権意識の涵養を図ります。

道徳や学活、人権月間などを通して、「自分を大切にするとともに、他の人も大切に」という態度や行動が様々な場面で現れるように、取り組みます。

友達関係をよりよくしたり、コミュニケーション能力を高めたりするために、アサーショントレーニングなどの方策を行います。



5年生 稲刈り

「たくましい子」とは

「たくましい子」は、「外で元気に遊ぶ子」「規則正しく生活する子」「最後までやりとげる子」「大きな声で返事ができる子」「少しくらいのことで泣かない子」「まちがいや失敗を恐れずに取り組める子」です。

外で元気よく遊び、早寝・早起き・朝ごはん・朝うんちの基本的な生活習慣をしっかり身に付け、バランスのよい食事を摂る子です。そして、勉強や運動など、生活する中で、苦しいことにぶつかった時に、負けず、くじけず、乗り越えていける、精神面の強い子です。

「たくましい子」をめざして

何をするにも、まずは、健康であることが一番です。基本的な生活習慣を身に付けることを目指して、児童自らが、主体的に自分の健康づくりに取り組むよう、学級活動や学校保健委員会等で考えさせ、実行できるようにしていきます。

休み時間に外でいろいろな遊び(運動)ができるように、時間の確保や用具の環境整備を図ります。

学校生活の様々な場面で、物事に動じない心や根気強さを身に付けさせるように工夫をします。



みんなと遊ぼう集会



1,2年生 焼きいも